

六ツ美中部小学校
校長室だより
令和6年7月19日



第4号

いつもここに元気な子



なのはな



六中小
ホームページ

第3回ざくろの会 ～小学校部活動の在り方を考える Part2～

第3回ざくろの会を令和6年7月11日(木)に開催しました。今回もテーマは部活動。なるべく多くの保護者の方にも参加していただきたいと思い、開始時刻を18時00分に設定するとともに、場所を図書室にしました。

参加者は保護者5名、総代会など地域の方4名、学校運営協議会委員6名、そしてオブザーバーとして学校指導課の方1名でした。前回より保護者の方の参加が増えました。ありがとうございました。

現在岡崎市で進んでいる中学校部活動の地域移行を踏まえて、昨年度から、小学校部活動の在り方について、ざくばらんに意見交流を続けてきました。会を重ねるごとに論点が整理されてきて、保護者の方が多く参加された今回は、不確定な要素が多くある中でも、子どもの健やかな成長のために大切なことは何かという視点で、ある程度の「方向性」が見えてきたという感じはあります。

10月3日の第5回ざくろの会で、再び部活動をテーマにします。18時開始の予定です。



子供のために



地域・家庭・学校で知恵を出し合う

第3回ざくろの会 ～ざくばらんな意見や要望等～

- 中部小学区は地域の人とのかかわりがあり、温かい。その中でびのびと育てほしい。
- 部活動が好きで、楽しみにして学校に行く子がいる。
- 部活動には所属しているが、乗り気でない子もいる。
- 部活動の種類が少ないから、部活動でやりたいことがやれない子もいる。
- 中学校の部活動が地域移行し、学校管理下外(令和11年度～)になっていく予定の中で、小学校の部活動は必要なのか。
- これまで、教員が指導してきた小学校の部活動には、一定程度の教育的意義はあると思う。
- みんなで目標に向かう中で、マナーや協調性、チャレンジ精神などを養うことができる。
- 部活動の地域移行は、教員の働き方改革の視点もある。部活動が、「学校教育活動」として在り続けることはないとする。
- 今のところ、小学校の部活動の大会は令和8年度までは開催することとなっている。その後は不透明。
- 部活動がなくなって、放課後の活動の場が全くなくなるのは、子供たちがかわいそう。
- 試合で勝つことを一番の目標にするなら、習い事でもよいと思う。子供の育ちを第一に考えた放課後の活動の場も必要ではないか。
- 子供に「選択肢」を用意することが大切。
- 選択肢の一つとして、部活動に代わる持続可能な仕組みを、地域・家庭・学校が協力して作るできないかと考えている。
- 部活動をテーマにした今後のざくろの会は、その仕組みづくりを目的にして、議論を深めていけたらよいだろう。

環境整備部会の学校支援活動 校内の花壇の整備 ～やっぱり夏はヒマワリ～

令和6年7月17日(水)、地域の方が校内の花壇を整備してくださいました。ヒマワリがメインです。この夏休みにぐんぐん育て、2学期のはじめには、大輪を咲かせて中部っ子を力強く迎えてくれることでしょう。楽しみです(^^)♪



いつもありがとうございます

大きくなってね